

別記様式（第1条関係）

その1		※受理年月日		※受理番号	
<p>援 助 申 出 書</p> <p>不正アクセス行為の禁止等に関する法律第9条第1項の規定による援助を受けたいので、次のとおり申し出ます。</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>公安委員会 殿</p> <p style="text-align: right;">申出人の氏名又は名称及び住所</p> <p style="text-align: right;">⑩</p>					
申 出 人	(ふりがな)				
	氏名又は名称				
	住 所				
	(ふりがな) 法人にあっては、 その代表者の氏名				
申出に関する連絡先					
不正アクセス 行為に係る特 定電子計算機	設置場所				
	用 途				
不正アクセス行為 を認知した日時					
不正アクセス行為 が行われた日時					
不正アクセス行為が 行われたと認める理由					

その2

申出書に添えて提出する資料

- 1 不正アクセス行為に係る特定電子計算機に係るシステムの構成に関する資料
(資料名)

- 2 1の特定電子計算機の特定利用に関する資料
(資料名)

- 3 2の特定利用を制限していたアクセス制御機能その他の機能の概要に関する資料
(資料名)

- 4 3のアクセス制御機能に係る識別符号をそのアクセス制御機能により確認するために用いる符号の内容及び管理状況に関する資料
(資料名)

- 5 1のシステムを構成する特定電子計算機に入力された識別符号その他の情報又は指令、それらの入力の日時、結果その他の入力履歴に関する資料
(資料名)

- 6 不正アクセス行為の再発を防止するために講じた措置その他の1のシステムに対して講じた措置に関する資料
(資料名)

- 7 不正アクセス行為が行われた際の特定電子計算機の作動状況及び管理状況その他の参考となるべき事項に関するその他の資料
(資料名)

記載要領

- 1 ※印欄には、記載しないこと。
- 2 申出人は、氏名の記載と押印に代えて、署名することができる。
- 3 該当する□に√印を付けるとともに、資料の名称を記載すること。
- 4 不正アクセス行為に係る特定電子計算機に係るシステムの構成には、システムを構成する特定電子計算機の機種、名称、機能及び識別情報、OSその他のプログラムの名称及び機能並びに他のシステムとの接続箇所及び接続方法を含む。
- 5 所定の欄に記載し得ないときは、別紙に記載の上、これを添付すること。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。